



朝来市議会

議会だより 第46号

2014(平成26)年8月5日発行



ハワイアン フラッシュ
和田山駅前元気まつり(7/12)

■第5回(4月)臨時会 ■第6回(6月)定例会

議会報告会	2~4
政務活動費収支報告	5
議案審議(4月臨時会、6月定例会)	6~7
請願審査	8
市政を問う／一般質問、賛否の状況	9~15
議会移転のお知らせ、特集ほか	16



▲ミニバスケットボールヒメハナカップ(7/12~13)
神戸新聞社提供

議会報告会を開催！

市内5会場に

260名が参加



▲市内5会場で開催しました。

朝来市では、平成21年4月1日に制定・施行した「議会基本条例」の第6条で「市民と議員が自由に意見及び情報を交換する議会報告会を年1回以上開催することとしています。今回で5回目となる議会報告会は、5月9日から21日にかけて開催し、260名の参加がありました。

なお、前回まで12会場で報告会を開催していましたが、今回は5会場としました。結果として、参加者数が大きく減りました。

(前回12会場、360名)

報告会の進め方

報告会は、各会場に議長を含め9名の議員が分担して参加し、パワーポイントを活用して「次世代につなげるまちづくり」第2次朝来市総合計画と「竹田城跡の保存と活用について」の2つのテーマに沿って報告しました。

終了後、報告テーマに関し参加者と意見交換を行い、市政全般に対する発言も含め、延べ45件の質問、意見をいただきました。

参加者からの 主な質問・意見と回答

報告テーマに関して

問 人口減はやむを得ないが、朝来市の減り方が急激すぎる。出産・子育てで他のまちでは考えられない特別な優遇政策がはつきりしていない。赤字覚悟でやることも必要だ。

答 若年女性(20～39歳)の人口変化率の推計が朝来市は県内ワースト4と新聞報道などで発表されたが、医療費は中学3年まで無料で他市よりもいい。予防接種も保育料も半減させた。議会としても英知を絞って検討していきたい。

問 庁舎や学校病院など箱もの整備が続いているが、人口減少に伴い、器は立派でも利用者が減り、内容も次第に貧弱になるのではないかと。朝来市として人口問題にどう取り組むのか。

答 施設整備について、地方交付税の一本算定と合併特例債の関係があり、必要な事業に投資した経緯がある。

問 奨学金制度を創設し、若者が帰ってくるような仕組みづくりが必要。若者が定着できるようにすることにお金を使ってほしい。

答 奨学金について、医師修学資金の貸与制度はあるが、一般的な奨学金を検討すべきとの御意見は承りました。

問 少子化対策として子育てで家庭をどのように応援するのか。

答 子育て支援の相談室、医療費無料化、こども園整備、保育料減免など実施している。

問 竹田城の保存の処置は当然と思うが、景観や来訪者に配慮の検討も必要では。

答 構造物や杭を設置すること

とも制限され、50万人もの来訪者に苦慮している。

問 観光客を立雲峡へ誘導することについて、トイレの使用状況から、既に観光客は増えている。このままでは竹田城跡の二の舞になる。整備してから誘導するのでは間に合わない。

答 委員会でも議論している。立雲峡への道路400mは今年度予算に上がっている。

問 大倉部山に登ると眼下に竹田城跡が見え、素晴らしい景色であるが、雲海の時期に無法に登山をする人が多く、危険で所有者にも迷惑である。議会としての対策は。

答 竹田城跡内で落下や滑った人があった。周辺の山は、有害鳥獣駆除のためハンターが山に入る時期もあり、議会でも至急に対応したい。



竹田城跡イメージキャラクター「たけじい」

開かれた議会を目指し



(さんとう緑風ホール)

報告テーマ

- 『次世代につなげるまちづくり
～第2次朝来市総合計画～』
- 『竹田城跡の保存と活用について』

その他市政全般に関して

問 農繁期の開催は見直しを。

答 議論はしているが、当初予算の報告、市民フォーラムの時期との関係からこの時期の開催としている。今後検討したい。

問 市内には貴重な神社仏閣、文化財などが多数ある。修繕等の方策を検討してほしい。

答 文化財は、指定区分によって補助も異なる。市指定の文化財は区長を通じ、教育委員会に相談していただいた。

問 新病院が平成28年度開院予定だが、小児科、婦人科を誘致するなど将来的な希望の持てる交渉を議員に期待する。

答 新病院は当面150床でスタートする。お産は但馬全体で考えることとし、豊岡市に周産期医療センターを整備中。新病院に小児科、婦人科を誘致することは難しい。

問 3年続く大型予算とのことだが、将来人口は減る中で後はどうなるのか。財政健全化に配慮していただきたい。

答 病院や学校に必要なインフラである。継続可能な財政計画を立てなければならぬ。人口を2万5千人程度とすることを目標にしている。教育を支援する政策などを通じ実現したい。

まとめ

●今回は、報告テーマを2つにしたことで議会からの報告時間が短縮され、市民の発言時間を増やすことができ、意見交換を旺盛に行うことができた。

引き続き、内容も含めてテーマ設定を十分に検討し、議会活動について、市民と議

員とが自由に意見や情報を交換できるよう留意すべきである。

●開催場所を5会場とすることで、議会としてはゆとりを持って運営にあたることできたが、参加者の減少に影響していることは否めない。

また参加者数は、前回と比較して会場(地域)による差も見受けられることから、区長会や自治協議会への協力依頼、開催チラシの配布など周知の方法についても見直すべき内容がある。

●寄せられたアンケートの集計結果から参加者の年齢層や性別での偏重の課題が残されている。当然働きかけを強めるものの、特定の層を目的にしたテーマを設定することなども含め、別の企画として検討することも必要。

●議員の報告は、パワーポイントや問答形式など、よりわかりやすく努められ、市民の評価も高い。また、議会での審議内容と経過が明らかになるようにする点でも、定着してきている。



(農業研修センター)

しかし、議員の発言で「議員間において多様な意見がある事項については、報告又は応答に反映させるよう努めるものとする」とについては、課題として残されている。

いただいた意見の取扱いについて

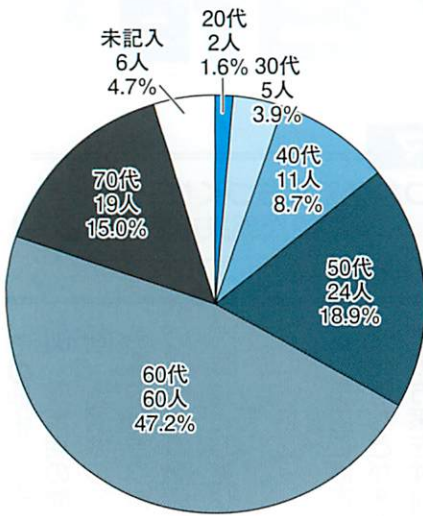
各会場でいただいた質問・意見等のうち、議会活動に関するものは議会運営委員会と協議し、市政に対する要望は、市長へ報告するとともに、請願・陳情の取扱いに準じて所管する常任委員会で協議することになりました。

また、その取組内容については、議会広報や今後の議会報告会などで市民の方への情報発信に努めることとします。

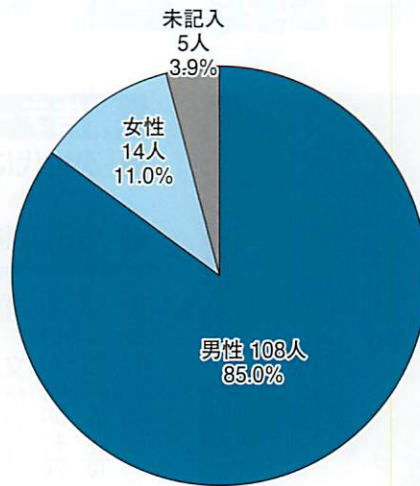
アンケート集計結果

アンケートは議会報告会参加者に配布し、5つの設問①議会報告会の説明、②配布資料、③説明時間、④議会報告会の評価、⑤議会だよりの認知度)に回答していただく形式で行いました。また、気づいた点、議会や市政に対する意見も求めました。ここでは意見のあった設問を中心に紹介します。

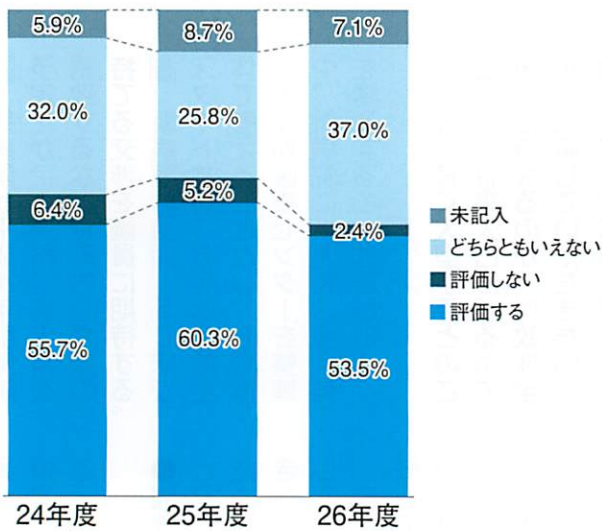
参加者の年齢層



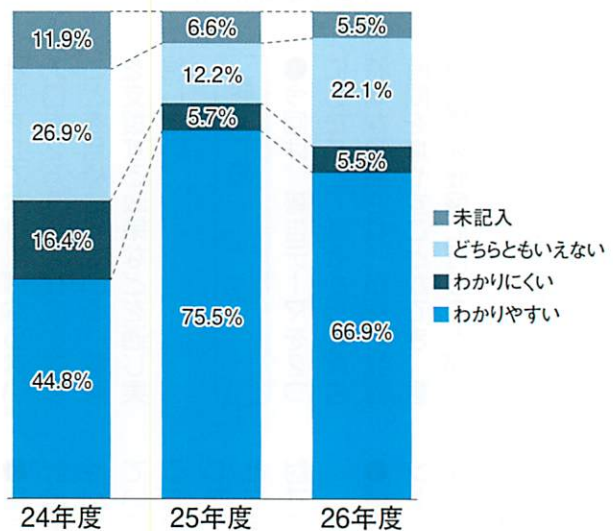
参加者の性別



報告会の評価について

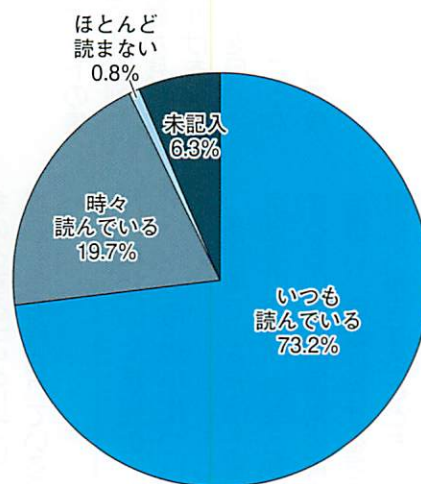


説明内容について



多数の貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。
これらのご意見を参考に議会運営に努めてまいります。

議会だよりについて



議会だよりについて
アンケートに回答していただいたほとんどの方が読んでいる結果となりました。
今後もより多くの市民の方に、より深く議会活動を理解していただけるよう編集に取り組んでまいります。

政務活動費収支報告

政務活動費収支報告

項目	内 容
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究に要する経費
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会への参加に要する経費
広報費	会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費

政務活動費を充てることができる経費の範囲

(広報費、広聴費の茶菓代を除く)

朝来市議会では、議員の調査研究やその他の活動に必要な経費の一部として、会派に対し政務活動費を交付しています。交付額は、会派に所属する議員1名当たり月1万円(年12万円)です。

なお、収支報告書の提出に当たり、活動事項、活動内容とその成果、日付などを議長に報告するとともに、政務活動費を使用した証拠書類として、全ての領収書を提出することになっています。

また、飲食に係るものは原則政務活動費を充てないこととしています。

平成25年度 政務活動費収支報告一覧

(平成25年4月～10月)

(単位：円)

		清風の絆	立志会	日本共産党議員団	朝来市議会公明党	みらい	新風朝来会	合計
人 数		7人	5人	2人	1人	1人	2人	18人
収入	政務活動費	490,000	350,000	140,000	70,000	70,000	140,000	1,260,000
	計	490,000	350,000	140,000	70,000	70,000	140,000	1,260,000
支出	調査研究費	149,604	492,260	0	80,966	37,090	123,125	883,045
	研修費	0	0	0	0	0	0	－
	広報費	0	0	167,777	0	0	0	167,777
	広聴費	0	0	0	0	0	0	－
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	－
	会議費	0	0	0	0	0	0	－
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	－
	資料購入費	29,100	0	1,640	0	34,110	820	65,670
	計	178,704	492,260	169,417	80,966	71,200	123,945	1,116,492
収支差引残額		311,296	△ 142,260	△ 29,417	△ 10,966	△ 1,200	16,055	143,508
(実質政務活動費額)		(178,704)	(350,000)	(140,000)	(70,000)	(70,000)	(123,945)	(932,649)

※議員数は19名であるが、会派に属している議員は18名

(平成25年11月～平成26年3月)

(単位：円)

		清風の絆	立志会	日本共産党議員団	朝来市議会公明党	みらい	開成会	清正クラブ	合計
人 数		7人	2人	2人	1人	1人	4人	1人	18人
収入	政務活動費	350,000	100,000	100,000	50,000	50,000	200,000	50,000	900,000
	計	350,000	100,000	100,000	50,000	50,000	200,000	50,000	900,000
支出	調査研究費	249,926	0	0	43,514	22,310	209,554	0	525,304
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	－
	広報費	0	0	89,551	0	0	0	0	89,551
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	－
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	－
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	－
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	－
	資料購入費	44,135	0	0	5,760	11,210	0	25,476	86,581
	計	294,061	0	89,551	49,274	33,520	209,554	25,476	701,436
収支差引残額		55,939	100,000	10,449	726	16,480	△ 9,554	24,524	198,564
(実質政務活動費額)		(294,061)	(0)	(89,551)	(49,274)	(33,520)	(200,000)	(25,476)	(691,882)

一般会計補正予算、国保条例の改正等を議決

(仮称)朝来医療センター及び朝来市保健センター整備事業用地敷地造成・道路改良委託業務契約の締結

(仮称)朝来医療センターは、平成28年5月の開院を目指し、公立豊岡病院組合が整備を進めており、朝来市は、同組合から建設予定地の用地取得事務及び敷地造成等の業務を受託しています。

今回、同組合から受託している医療センターの敷地造成と市が行う保健センターの敷地造成、道路改良等とを一体的に整備するため、随意契約(※)により兵庫県土地開発公社理事長と委託業務契約を締結するものです。

契約の内容

【工 期】

平成26年4月23日から
平成28年3月31日まで

【金 額】

673,527,960円

【相手方】

兵庫県土地開発公社
理事長 藤田 隆司



▲(仮称)朝来医療センター周辺パース図

4月臨時会で提案され、全会一致で可決しました。

主な質疑

問 下請に地元の事業者が関与できるのか。

答 土地開発公社から事業者に発注する形態となるが、6億7千万円という大きな発注をするので地元事業者では受注が難しいので一括発注せず可能な限り分割して地元の事業者にも参入できる発注をするようお願いしている。

※随意契約とは 地方公共団体が競争の方法によらないで任意に特定の者を選定し、その者を相手方として売買その他の契約を締結する方法

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正により、非常勤消防団員に係る退職報奨金の額が改正されました。これは、東日本大震災や局地的な豪雨等の災害が各地で発生する現状から、地域防災の第一線で活動する消防団員の処遇改善を図るもので、これに伴い市の非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を改正するものです。初日の本会議で提案され、総務常任委員会に付託し、最終日の本会議において、全会一致で原案のとおり可決しました。



▲消防団ポンプ操法大会

主な質疑

問 条例改正は、消防団の処遇改善として退職報奨金を増額するものだが、報酬自体の考え方はどうか。

答 近隣地域の自治体の状況も見ながら対応していきたい。

一般会計補正予算(第1号)

当初予算229億2千万円に2,750万円を追加するもの。初日の本会議で提案され、各常任委員会に分割付託し、最終日に全会一致で原案のとおり可決しました。

補正予算の主な内容

○竹田城跡維持管理事業追加 社会実験による観光バス予約システムの運用と城跡へのアクセス対応検討に係る業務委託費及びバス駐車場の仮設トイレ設置費など1,574万7千円を追加するもの。

○英語教育強化地域拠点事業 英語が話せる人材の育成を目指し、小・中・高の連携を図りながら新たな教育課程の編成及び評価のあり方について実践研究をする研修費等210万円を措置するもの。

主な質疑

問 国、県のモデル事業を活用し、英語教育を重視する予算が計上され、小学校でもさらに学年を低くして導入するようだが、今後の英語教育の方向性や基本方針はどういったものか。

答 現在、小学校高学年で外国語活動として英語に触れる時間を週1時間程度持つているが、この研究委託で中学年にまで外国語活動を拡充し、高学年にはカリキュラムの中に組み込む方向で考えている。

問 子どもへの負担と教える側への負担、それぞれどんな負担があり、その対応策は考えているのか。

答 児童への負担について、教科書の内容が増加している実態があるが、総合的な学習の時間で扱う部分を外国語活動や英語科として扱うことで時間が増えない。

指導者の問題は、国全体の問題でもあり、小学校教員で英語の免許を持つ者はわずかだが、朝来市では加配教員を3名配置し、その先生を中心に研修を充実する中で魅力ある外国語活動、英語教科への取組を求めたい。

問 現在の日本の英語教育は受験のためのものであり、受験制度が変わらない中で英語に親しむ、英会話ができるようにするということの効果が期待できるのか。

答 この指定を受けることで、英会話が全員できるようになるというのは難しいかもしれないが、英語は非常に差がつく教科でもあり、小学校、中学校、生野高校との連携で朝来、生野地域を中心に英語が好きになる、嫌いにならないという観点も考慮しながら研究に取り組みたい。

竹田小学校屋内運動場大規模改造工事請負契約の締結

竹田小学校屋内運動場及び旧竹田幼稚園園舎は、いずれも昭和58年3月に建築され、建築後31年が経過し、老朽化が目立つことから大規模改造を行うとともに、閉園した幼稚園の利活用を図るため、園舎を会議室や倉庫、多目的室に改修し、園庭を職員駐車場に整備します。あわせて、東日本大震災以降問題となっている屋内運動場等の天井等落下防止対策として、つり天井



▲週1回実施の外国語活動

を撤去するもので入札の結果に基づき契約を締結しようとするものです。初日の本会議において全会一致で可決しました。

主な質疑

問 工事内容の構造補強工事について、耐震調査で国土交通省が求める基準以下のため工事を行うようだが、この体育館も含めた新耐震基準の建物は、補強工事を考えなくてよい説明を受けてきた。新耐震基準以降に建築された学校全てにおいて、1S値などの基準をクリアしているのか。

答 竹田小学校の屋内運動場は、新耐震基準の建物で建築基準はクリアしているが、建物がピロティという特殊な構造であり、旧耐震の数値で計算した場合、基準を下回る

結果となった。このことから、児童の安心・安全を最優先に考え、補強工事をするもの。他の新耐震基準の校舎は、全ての建物で基準をクリアしている。

問 この工事には、東日本大震災以降の問題で指摘されたつり天井の撤去工事が含まれているが、撤去工事を行う他の学校の状況は。

答 東日本大震災以降、問題となったつり天井の構造について、全面的な改修に取り組む方針。平成26年度に調査設計を行い、工事は次年度以降を考えている。

契約の内容

【工 期】
6月3日から
9月19日まで
【金 額】
204,120,000円
【相手方】
株式会社阿野建設
代表取締役 阿野 孝好

国民健康保険税条例の一部改正

朝来市国民健康保険運営協議会の答申に基づき、平成26年度における国民健康保険税

の税率を改正するもので、前年度の決算見込みや基金の状況等を検証した結果、減額する状況にはないと判断し、予算編成時の税額見込みと同額としています。

1世帯当たりの医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計は12万4,100円で5,300円の引上げとなります。初日の本会議で提案され、総務常任委員会に付託し、最終日の本会議において、賛成多数で原案のとおり可決しました。

主な質疑

問 朝来市の保険税と医療費の但馬管内での相対的順位はどれくらいか。

答 但馬管内(3市2町)における24年度の1人当たりの国保医療費の状況は、一番高く、23年度では2番目に高かった。税額は平均的。

反 対 討 論

■ 世帯平均5,300円の引上げで、3年連続して厳しい。市の国保加入者世帯の所得状況は、所得0円の世帯が

22.7%、所得100万円以下世帯は過半数を超えている。一方で協議会の答申は、「税の安定性・公平性の観点に配慮し算出」や「健全な医療保険制度として維持」など市民の立場に立ったものではない。

また、市が定めた国民健康保険事業財政安定化計画は、10年間、1世帯平均で毎年約5千円の負担増加、10年後には5万円の引上げとなる。この自動的に負担増加する計画を市民は知らされていないし認めてもない。さらに計画では、取り組みで補えない部分を一般会計から繰り入れるとしているが、これまで1円も繰り入れられていない。

賛 成 討 論

■ 市は増加する医療費に対応するため、国民健康保険事業財政安定化計画を策定し、健全で持続可能な医療保険制度として維持していくために医療費の抑制、保険税の適正な賦課など財政安定化に向けて取り組んでいる状況にある。今回の改正も国保財政が厳しい中ではあるが、財政安定化計画に沿ったものであり、妥当なもの判断する。

請願2件を採択し、意見書を提出しました

■介護保険制度の見直しに関する請願書

兵庫県社会保険推進協議会（会長 吉岡正雄氏）から提出された請願（鈴木逸朗議員、岡田和之議員紹介）で、文教民生常任委員会が審査を行いました。

請願の内容は、国会に提出された「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備に関する法律案」について、要支援者の訪問介護・通所介護を現行どおり介護予防給付で行うこと、特別養護老人ホームの入所者を原則要介護3以上に限定せず現行どおりとすること、利用者負担を増やさないことを求めるものです。

審査を進める中でこの法案が6月18日に参議院本会議で可決・成立したという背景もあり、この請願を不採択とする審査報告が行われ、本会議において、賛成少数で不採択となりました。

■少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請について

兵庫県教職員組合朝来支部（支部長 樫本義徳氏）から提出された請願（嵯峨山 博議員紹介）で、文教民生常任委員会が審査を行いました。

請願の内容は、社会状況等の変化により、一人ひとりの子どもに対するきめ細かな対応が必要なか、新学習指導要領による授業時間や指導内容の増加、日本語指導が必要な子どもや障害のある子どもへの対応、いじめ・不登校など生徒指導の課題など解決には、少人数学級の推進などの計画的定数改善が必要であること。

また、日本はOECD諸国に比べ1学級当たりの児童生徒数、教員1人当たりの児童生徒数が多くOECD諸国並みの豊かな教育環境を整備する

ためには、30人以下の学級が望ましいというものです。

朝来市では、少子化が進む現状ですが、少人数ではない学級も存在し、また日本における教育費は先進国（OECD加盟34か国）の中でGDPに占める教育予算分野が最低と指摘され、教育分野の予算充実に努めることが必要と判断し、この請願を採択する審査報告が行われ、本会議においても、全会一致で採択しました。

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための意見書

- 1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

【提出先】

内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準を緩和し、患者の実態に応じた障害者認定制度にすること。

【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

■ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願

肝炎友の会兵庫支部（会長 山本宗男氏）他から提出された請願（上田幸広議員紹介）で、文教民生常任委員会が審査を行いました。

請願の内容は、ウイルス性肝炎（特にB型・C型）の蔓延は、肝炎対策基本法をはじめ国の法的責任は明確になつていないものの、患者に対する医療費助成は限定的で対象外の患者が相当数にのぼり、高額な医療費負担、就労不能、障

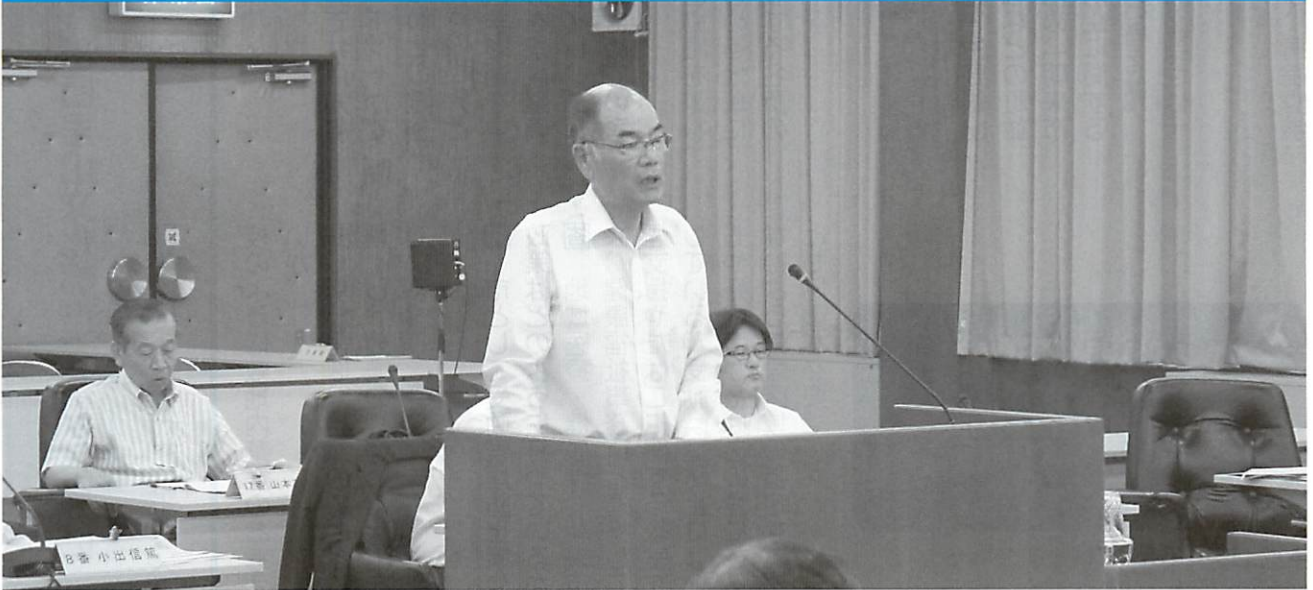
害認定の基準が実態に沿わないなど生活支援の実効性を発揮しておらず、ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成の創設、肝疾患に係る障害認定基準の緩和を求めるものです。

肝炎対策基本法やこれに関する訴訟において、ワクチン接種に関わる当時の指導について、国の過失が明らかになつた問題であり、肝炎、肝がんを発症した人たちが苦しむ現状から、この請願を採択する審査報告が行われ、本会議においても、全会一致で採択しました。

12議員が登壇！

市政を問う

6月10日(火) 5名
11日(水) 5名
12日(木) 2名



朝来市議会では代表・一般質問は答弁を含め1人50分以内となっています。内容は各議員が500字程度にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

○市独自の奨学金制度を

問 朝来市の人口政策・若者定住のためにも子育て支援が必要で、その一環として市独自の大学入学支度金及び奨学金制度(①市の奨学金、②日本学生支援機構奨学金の利子補給等)を早急に創設すべきで、市長の御所見を伺う。

答 家庭の中における教育費の割合は大きなものがあり、今日の厳しい経済状況の中では大学進学を断念する生徒もいる。家庭の経済力が子どもの学力に影響すると各種調査で明らかになっており、心ならずも大学進学を断念せざるを得ないことは、大変残念なことである。子どもの将来の夢実現に市が支援すべきである。

問 本市は人口減少に悩むまちであるので、Uターン等を条件に奨学金の創設を検討するが、先進例にない要綱を決定したい。

○エネルギー政策の拡充を

問 朝来市は山と水が豊富な自治体であり、その特性を活かしたエネルギー政策が必要である。具体的には、①小水力発電、②小規模の木質バイオマス発電、間伐材のチップ化事業等について市長の御所見を伺う。

答 生野ダムを活用した水力発電計画は水利権を持つ県と協議中、与布土ダムは調査中。小水力発電で収益をあげるには毎秒40ℓ必要。

問 最新の物は、田んぼの用水路程度の水量で発電し、防犯灯や有害鳥獣電気柵に電気を供給できる。木質バイオマス発電も小規模のもの、チップ化だけの事業も検討すべきだ。

答 河川法改正で農業用水路での小水力発電は届出制になったので検討したい。



▲木質バイオマスの推進で森林の間伐も進む



奨学金制度創設で

子育て支援・若者定住を

瀧本 稔



田園里山文化都市を創るために

木村 圭 介

○ダム周辺の公園化は

問 与布土ダム完成式典で井戸知事が「朝来市にまた観光スポットができた」と挨拶された。与布土の渓谷の桜・新緑・紅葉・白銀の世界といった四季を映す奥山四季彩湖を中心にダム堤体の下流部分を景観整備してはどうか。東屋、トイレ、ダムへの遊歩道などの整備も含めての考え方は。

答 地元、土木事務所と協議を重ね、四季折々の緑・花が楽しめる地域になることで朝来市を代表する名所の一つになると考える。

○たばこを吸うのを防ぐには

問 市として、竹田城跡・生野銀山や芸術の森・梁瀬の酒蔵などの町並みなど観光スポットを含め、「朝来市ポイ捨て及び路上喫煙防止に関する条例」の制定についてのお考えは。

答 こうした条例制定の必要性は十分感じている。

問 建設予定の新庁舎は、病院や学

校のように敷地内禁煙のお考えはないか。

答 新庁舎は、当然のこととして禁煙とし、分煙の喫煙コーナーを考えている。

問 市として受動喫煙防止策や禁煙政策はどのように打っているか。

答 地域医療・健康課、朝来市医師会、健康福祉事務所と連携して、禁煙支援やたばこに関する教室を開催している。受動喫煙防止には、子どもや妊婦等がたばこの煙にさらされないよう禁煙区域の指定など関係課とも協議が必要。



▲ポイ捨てを防ぐには

○過疎対策について

問 朝来市には50人にも満たない区が複数ある。活性化に向けてどのように考えているか。

答 50人未満の区は、平成26年3月末時点で市内に10区ある。人口減少による区の小規模化と高齢化は、今後さらに進んでいくことが予想される。ワークショップ的なことを区で開催し、問題点を区民の共通認識とすることが不可避とも考える。区、地域自治協議会、行政が一体となった対応が必要であると認識している。

問 高齢化集落、限界集落に元気づくり担当職員制度を設け、意見や課題を集めて活性化につなげるには。

答 元気づくり担当職員について、色々指摘もあり、今日まで地域自治協議会への支援や、まちづくりに協力する職員を派遣している。しかし、特に小集落に対しては、元気づくり担当職員制度を設けることは大きな価値があると考えている。



地域の活性化に向けて

嵯峨山 博

○朝来市の図書館について

問 ー丁化が進む中、電子書籍を採り入れるべきでは。

答 県内には高齢者や障害のある方など図書館に来館できない方がアクセスできる取組を進める地域もある。民間活力の導入について、一定の評価はあるが、著作権の問題や提供図書が極めて少ないのが現状である。電子図書の導入については、さらなる研究をしていく。

※その他、企業誘致・支援について質疑を行う



▲電子書籍で読書を楽しむ

一般質問



文化史跡を後世に引き継ぐために

小出 信篤

○竹田城跡の保存観光活用について

問 保存と観光の担当部門を竹田城課に一本化されたが、見直しにより城跡保存と観光活用の問題解決となるか。

答 緊急応急的な保護措置を講じているが、今後の保存管理について、県教育委員会の指導を仰ぎながら最もよい本格的な保護整備のあり方を検討していく。

問 北千畳の桜の木の下で何組かグループが休憩していた。桜の木にとつて根元を踏み荒らすのが一番悪いと聞けが、担当課は状況を把握しているのか、またその対策は。

答 桜の木の根元に行く状況は承知している。情緒ある竹田城跡を栄えさせる観光資源なので、木柵などで侵入制限するようなことを研究したい。

問 市内には竹田城跡、茶すり山古墳等貴重な文化財がある。文化財課設置の考え方をもちか。

答 専門的な見地から、文化財課の設置も今後十分検討したい。

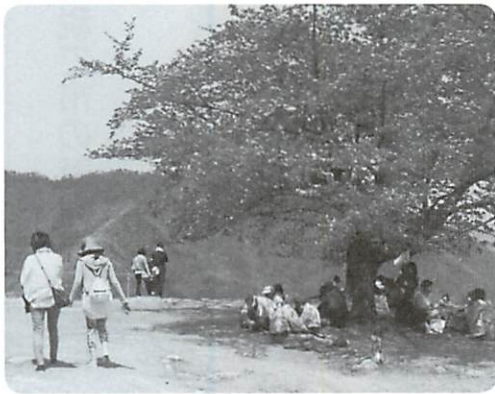
○市内中学校は

平静を取り戻しているのか

問 新体制でスタートして2か月。市内中学校の現状を教育長はどのように見ているのか。

答 人事異動があり、新体制の中で校長を中心に取組を進めている。落着きを取り戻しているが問題がないわけではない。継続して教育相談や関係機関と連携しながら取組を進めている。

※その他、竹田城駐車場対策等当局の考えを質問しました。



▲桜の木の下でくつろぐ観光客

○接遇について

問 「あさご・さわやか接遇マニュアル」が活かされていないがなぜか。

答 当該マニュアルは、平成18年1月に作成し、当時の全職員に配布した。内容は、接遇に関する基本的マナー、身だしなみ、挨拶、お辞儀の仕方、言葉遣い、窓口や電話対応などサービス提供の基礎である接遇と業務に当たる職員としての基本的な姿勢などをまとめたもの。このマニュアルは、毎年度新任職員に配布し、接遇研修で活用している。また昨年度は、主事級及び窓口業務に携わる嘱託・臨時職員を対象にマニュアルを活用した接遇研修を実施した。しかしながら、全職員が日常業務の中でマニュアルを活用していない状況も見受けられ、より一層活かされるよう対応や対策を講じたい。

問 総務課に当該マニュアルがなかったのはなぜか。

答 担当者がおらず、書類の位置が分からなかった。マニュアルである以上、いつでも取り出せる対応が必

朝来市の課題は何か？

吉田 俊平

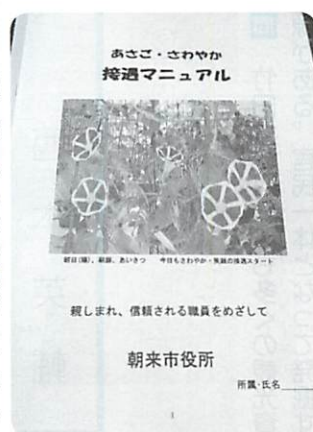
要であり、その点は申し訳なかった。

問 公務員の本分を理解すれば接遇の重要性が理解できると考える。公務員の本分とは何か。

答 公務員の本分とは、住民全体の奉仕者として勤務し、常に公務員としての自覚を持って、時代に即応した知識や技能を身につけ、公共の利益のために全力を挙げて職務に取り組む事である。

問 接遇向上の具体的な対策は。

答 さわやか接遇マニュアルの徹底を図るとともに、厳しい接遇研修も必要と思っている。



▶あさご・さわやか接遇マニュアル



ふるさと納税で市の魅力を全国に

上田 幸広

○ふるさと納税について

問 ふるさと納税は、都道府県・市町村に対する寄附の制度で、寄附に対するお礼として、その地域の特産品などが贈られることで現在、全国的にも話題になっている。総務省の調査では2008年の全国の寄附件数約5万件から2012年には12万件と伸びている。朝来市のふるさと納税の実績はどうか。

答 寄附件数は平成20年度から昨年度まで毎年60件前後、金額は430万円前後でほぼ横ばいの状況。

問 淡路市は昨年1年間で5,337件、8,740万円もの寄附金が集まっている。本市も竹田城跡が注目を集める今、ふるさと納税制度を最大限に活用し、特産品や観光資源をPRすることで全国に朝来市ファンをつくることができると思うが。

答 全国津々浦々の方から朝来市に関心をもってもらえるよう御意見を参考にし、制度を見直していく。

○小型家電リサイクル法について

問 昨年4月から小型家電リサイクル法が施行され、レアメタルや金など貴重な金属資源を含む使用済み携帯電話、デジタルカメラ、携帯型ゲーム機、テレビのリモコンなどの回収再利用が望まれるが、朝来市の取組は、どのようになっているのか。

答 現在、回収再利用には取り組んでいないが、実態を調査し、市として対応できるか検討したい。



▲ふるさと納税で朝来市の特産品を全国にPR！

○与布土地域の危険交差点に信号を

問 県道檜倉山東線・県道溝黒竹田線の交差点に信号機が設置できないか。

答 御指摘のとおり交差点の周囲には、こども園や介護施設があり、また温泉利用客などで以前より交通量が増加している。信号機設置は重要施策の1つと考えている。

○市民に竹田城跡へ登る機会を

問 観光客増加により、市内小学校の遠足先に竹田城跡とするのを断念している。登城できるようにすべきである。

答 児童全員の登城は協議しなければならぬが、学校と十分相談し、善処したい。

問 観光客を規制する「竹田城跡市民の日」を制定してはどうか。

答 時間制限や時間調整など方途があるように思う。担当課とも十分協議していきたい。



「交通安全」「竹田城跡」市民の声を反映する施策を

西本 英輔

○市内各地の観光資源発掘について

問 竹田城跡以外にも多くの観光資源がある。官民一体となって発掘すべきではないか。

答 それぞれの地域に残る祭り等も含めて全国に知ってもらう方途を広げなければならないと思っている。

問 無料通話アプリLINEを利用して行政ビジネスを展開してはどうか。

答 収益性があるため、市で取り組むのは困難かもしれないが、市内の団体等に任せる方法もあると思う。



▲危険交差点の信号機設置は安全を願う与布土地区民の悲願。信号機設置の早期実現を！

一般質問



総合計画の疑問点を質す

森下恒夫

問 総合計画の人口政策で「地域力の向上」とあるが、地域力の向上につながる人口政策とは何か。

答 基本的には、市が行う全ての施策である。

問 「あなたが好きになるまちを目指すことを将来像とする」では、目指した時点で将来像が達成したことになり、不適切な表現だ。

答 将来こういったまちでありたいといったものが将来像であり、将来を見据えた考え方である。

問 人口政策の4つのテーマの1つに、社会減の抑制策として「好きなまちでエコライフ」とあるが、内容の説明を求める。

答 安全、環境、医療等の住環境を充実し、住み続けたいまちづくり政策として、イメージしやすいようにエコライフと表現している。

問 人口減少が進行する中で、行財政改革が急務と考えるが。

答 御指摘のとおりで今年度から本格的に公共施設の再配置に取り組む。



▲今後8年間を計画づける総合計画

問 地域ブランド計画の推進には、今ある但馬牛ブランドを生かすことが重要と考えるが、と畜場の活用はどう取り組むのか。

答 と畜場は、施設の老朽化が進んでおり、改修・改築の基本計画を今年度予算化し、取り組んでいるところである。



ドクターヘリの安全脅かす 米軍低空飛行訓練の中止を

岡田和之

問 2017年に米軍空母艦載機の岩国基地への移設により、今後フールルートでの米軍機低空飛行訓練が頻発する恐れがある。市内に年間210件以上出動しているドクターヘリの安全は守れるのか。また、低空飛行による市民の苦情は県にどのように報告しているのか。

答 現時点では情報がなく予想できないが、安全性については市民の命と財産を守る自治体の長として非常に懸念している。県への苦情報告は、各支所からの情報を集約して、その都度県に報告している。直近では5月30日に生野支所から通報があった。

問 目撃情報は、県に苦情として報告し、県も苦情として防衛省に確認を求めるべきでは。同時に市民にも情報提供の協力を求めているどうか。

答 県は、適切な報告をしていると思う。市民には、目撃情報を支所に報告していただくよう求めたい。

問 市民の命やドクターヘリの安全確保は、自治体の使命である。米軍機やオスプレイの低空飛行訓練の中

止を求めてどう取り組むのか。

答 低空飛行訓練の情報を得た場合、県や関係自治体と連携して、国に対し安全性確保の要望をしたい。

○障害者の割引制度の周知を

問 民間企業が行う障害者の割引制度は意外と知られていない。経済的負担軽減のためにも広報などでもっと知らせるべきではないか。

答 手帳交付、更新時に配布している。



▲飛来が予測されるオスプレイ



介護保険制度からの
「卒業」を求める制度改正

鈴木 逸朗

問 医療介護総合法案の先取りと言われる厚生労働省のモデル事業が13の市区町村で実施された。利用者はどのような状況に。

答 家事や散歩、地域の集いへの参加など生活や行動に広がりがある。

○自立はわずか2、7%

問 実際は「生活援助をやめてボランティアの家事支援への変更を再三迫られた」などの声。利用者のうち、一年後も継続認定された方は約63%。市の実状と比べてどうか。

答 資料が手元がない。

○手話は読唇や筆記より比較的優位

問 聴覚障害者にとって手話は、情報を取得し、「コミュニケーションをはかる重要な言語」ですが、国は言語として認めておらず不利益に。手話言語条例をどう考えるか。

答 国や全国的な動向、関係者の意見も聞きながら検討したい。

○学童保育はじめ、よりよい子ども、子育て支援計画に

問 計画の策定状況は。

答 市の子ども子育て会議を2回開催。ニーズ調査の内容等を検討。事業計画案や学童保育の条例案は、9月議会で御議論いただく。

問 学童保育の具体的な市の基準の方向は。

答 基本的には職員に伴う事項は、省令に従い、他はこれから検討。

問 専用面積や児童の集団規模は。

答 指摘の参酌基準、児童一人につき1・65㎡以上で整え、概ね40人までが適当として協議したい。

問 この基準で改善が必要な施設は。

答 データが手元になく、十分配慮しながら検討したい。



▲よりよい学童保育に



合併後10年、財政改善は必至！

日下 茂

問 合併後10年、合併特例債は使い切り、借金だけが次世代に引き継がれようとしている。公共施設の統廃合も進んでいない。借金と運営費がかさむ朝来市となれば、若者は背を向ける。地方交付税が大幅減額される前に思い切った財政改善計画と民間を元気にして税収を増加させる方策を真剣に考えるべきでないか。

答 公共施設の問題は今年度検討、協議を重ねたい。本庁周辺だけの活性化でなく、支所の必要性も訴えていく。健全財政維持もしっかり考えたい。

問 交付税の減額を乗り切れる方策を持たないで財政維持はない。税収を上げる方策が必要。朝来市は観光客からの経済効果で交付税減収分を穴埋めできる可能性が高い。職員の知恵の結集が必要でないか。

答 切り詰めるべきは切り詰め健全を保ちたい。竹田城の登城費は管理が必要な時に充当したい。

○文化会館は市民の知識向上に役立っていない

問 ジュピターホールは質の高いホールだが、機能を生かした事業が実施されていない。市民が楽しみにする事業も少ない。年間6公演と貸館事業に多くの職員が必要なのか。

答 音響のよいジュピターホールは自慢したい。職員もフル稼働で努力し、自主文化事業も運営委員会を通じて検討されていると思う。市民が音楽、芸能に触れることも検討すべきと改めて考える。



▲どうする大きな箱物

一 般 質 問



合併特例債、重要書類管理、支所機能について

丸 尾 行 子

○合併特例債の償還計画は

問 合併特例債の発行上限額182億円を起債(借金)する予定だが、いかに有利な合併特例債でも借金は借金。少子高齢化が進む中、将来に負担を残さない償還(返済)計画の考え方は。

答 合併特例債は、償還額の66・5%が地方交付税で措置される有利な起債であるが、将来に負担を残さないよう、短期で償還が可能な「のじぎく債」を活用するなどの対応をとりたい。

○新庁舎建設に伴う重要書類の管理は

問 新庁舎の建設に伴う事務所の移転で市の重要書類も移動することになるが、たび重なる引っ越しにより、重要書類が紛失しないための分類、管理の方法は。

答 文書管理規定に基づき、適正な文書管理に努めている。新庁舎建設による移転等を好機と捉え、重要書類が散逸することのないように徹底したい。

○支所と本庁の関係

問 「支所で相談しても結論が出ない、本庁で相談しても回答が遅い、あるいは回答がない」との苦情が多々ある。朝来市は「住んでみたい街」と「観光客へのおもてなし」に苦慮していますが、住んでいる市民への対応が「雑」であってはいけない市では「朝来市陳情等事務処理規程」が定められているにもかかわらず、規程が徹底していないのでは。職員の市民に対する配慮が支所と本庁とで差が生じてないか。

答 苦情等があることは遺憾に思う。今後本庁と支所とで対応に差異が生じないよう徹底したい。



▲重要書類等の引っ越し

4月臨時会及び6月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

議 案 名	岡田 和之	鈴木 逸朗	丸尾 行子	波多野 優	西本 英輔	吉田 俊平	太田 則之	小出 信篤	川井 康充	上田 幸広	森下 恒夫	日下 茂	嵯峨山 博	木村 圭介	淵本 稔	村田 公夫	山本 正之	能見勇八郎
専決処分の承認を求めることについて(朝来市環境審議会条例及び朝来市下水道事業審議会条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(朝来市税条例及び朝来市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて(朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(仮称)朝来医療センター及び朝来市保健センター整備事業用地敷地造成・道路改良委託業務契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度朝来市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市超高速ブロードバンド基盤施設整備事業工事(設計・施工一括型)請負契約の一部を変更する契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市立竹田小学校屋内運動場大規模改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
朝来市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度朝来市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険制度の見直しに関する請願書	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成した議員は○ 反対した議員は● 欠席した議員は欠

※議長には表決権がありません。

市議会が移転しました

本庁舎建設工事にあわせ、7月7日から議会機能（事務局を含む）を山東支所3階に移転しました。なお、今までどおり本会議のケーブルテレビ生中継や本会議及び委員会の傍聴は継続しています。

【移転先の住所・連絡先】

住所 朝来市山東町
楽音寺95番地
TEL 676-20082
FAX 676-20083

9月定例会の予定

9月 3日(水) 議案審議
4日(木) 議案審議
12日(金) 一般質問
16日(火) 一般質問
17日(水) 一般質問
10月 2日(木) 議案審議

■本会議は、ケーブルテレビで生中継します。
■本会議・委員会の傍聴などお問合せは
議会事務局へTEL 676-2082

議会フロアの紹介

(山東庁舎3階)



特集 ようこそ朝来市へ!! ③

やまもと たいすけ
山本 大介さん

祖父の地で暮らす

(山東町喜多垣在住)

たいすけさん

Q 朝来市との縁は?

A 今年4月に神戸市から山東町喜多垣に転入しましたが、実は2回目の転入です。元々、両親が豊岡市で電気店を営んでおり、豊岡市に住んでいましたが、高齢の祖父母が心配なことから小学校1年生頃に父親の実家である喜多垣に引っ越したのが最初の転入です。その後、祖父が介護施設に入所し、豊岡市に戻りましたが、高校1年生頃まで喜多垣に住んでいました。

Q 以前住んでいた頃と今の違いは?

A 通っていた小学校が廃校になり、子どもが少なくなったこと、商店も減ったことなど少し寂しく感じました。

また、簡単に捕まえられるほどたくさん飛んでいた蛍が随分と少なくなったように感じました。

Q なぜ「朝来市」にUターンを

A 高校卒業後は、神奈川県や神戸市で働いていましたが、「両親が歳をとり、仕事を続けるのが大変になってきたから家業の電気店と一緒にやろう」と兄が言ったことをきっかけに但馬へ帰ることにしました。

父は「家が一軒空いているから」と喜多垣に住むことを勧め、子どもの頃の両親と同じように豊岡市に通勤しています。

また父は、「田んぼもあるから農業もさせよう」と話していたので、今後の編集に当たり留意いたします。

お詫び

議会だより第44号の「特集 ようこそ朝来市へ」の中で他市の方に対し、配慮に欠ける表現がありました。お詫びいたします。今後の編集に当たり留意いたします。

Q 転入による不安はありませんでしたか?

A 小さい頃に住んでいたころでもあり、不安はありませんでした。田舎で暮らすことに対して悪いイメージもなく、遊ぶのなら神戸市などの都会が便利ですが、暮らすのであれば、のんびりできる田舎が良いと思っていました。近所にもあまり商店もないですが、車があれば特に問題はなと思います。ただ、虫が多いのが難点ですが...

近所付き合いに関して、喜多垣は知っている人も多く「なんとかかなるか」と思っています。